

開かれた議会を目指して

津市議会

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症については、いまだ終息の目途は立っていないものの感染症対策を行い、徐々にではありますがイベント等も開催されるようになりました。

津市においても、昨年はさまざまな感染症対策を行った上で、ウィズコロナ時代のプロローグとして「津花火大会」をはじめ、「ビーチバレーin御殿場」「津まつり」など、実に3年ぶりに開催となりました。

また、桧原温泉湯の瀬のリニューアルオープンや河芸こども園の開園、津西ふれあい会館の新築など、市民の皆さまが待ち望んでいらしゃった事業も進められました。津市議会におきましては、市民生活を守り、地域経済を支援するために、また、今後のより良い地域社会の実現に向けて、市議会の権能を十分に発揮しながら安定的な議会運営に努め、必要な事業や施策を円滑に実施できるよう取り組んでまいります。

津市議会では、昨年1月に市議会議員選挙が実施され、34人の議員を選出していただきました。新しい体制におきましても、二元代表制の一翼を担う議会として、市民の皆さまの負託と信頼に応え、皆さまの意見を市政にしっかりと反映できるよう、全力で取り組んでまいります。

昨年は、本会議におきまして約220件の議案審議を行うとともに、310件を超える一般質問を行いました。本会議や委員会の内容については、広く市民の皆さまに知っていただけるようインターネットを活用し、ライブ映像や録画映像の配信を行っており、オンラインで視聴いただくことができます。スマートフォンでもご視聴いただけますので、ぜひ多くの皆さまにご覧いただければと思います。

また、昨年においては、開かれた議会を目指すべく、定例会ごとに発行しております「つ市議会だより」のフルカラー化を行いレイアウトも変更し、より見やすい紙面づくりに努めました。今後も市議会の活動を分かりやすく、身近に感じていただけるよう、さまざまな改革に取り組んでまいります。

本年も市民の皆さまにとって、輝かしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。